

その他の小売業における食品加工用機械を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	12～13	精肉作業場にて、スライサーを使って肉をカットしている時、スライサーに肉片が詰まったので左手で取り除いていた所、起動させるレバーはOFFになっていたが、安全装置（主電源）はOFFにしていなかったため、腹がレバーに当たりONになったため刃が動き、左手薬指先を負傷する。	24	—
1	18～19	構内バックヤードにて、組立て作業を行っている際に、滑って刃を落としそうになって、慌てて受け取り機械に取り受けようとした所、機械と刃の間に左手の小指を挟み、爪と指に刃が当たり出血してしまった。	20	100～299
1	21～22	当店調理場にて、フライヤー電熱器の跳ね上げ掃除中、ストッパー左側に右手が接触してしまい、ストッパーが解除され手前に倒れてきたところ、電熱器に右手中指を挟み負傷した。	38	—
1	11～12	粉摺り機で作業中、粉昇降機が詰まり、粉を取り除く際に電源を切るのを忘れて作業を行い、機械が急に動き出して昇降機下のらせん部分に指を挟まれ、右手人差し指と中指を損傷し、中指に粉碎骨折を負った。	61	1～9
1	16～17	事業場所パン屋で食パンをスライスしている時、スライサーという機械を使用中、パンの耳を取ろうとして、スライサーを止めないで、機械の中に指を入れて負傷した。	17	1～9
1	10～11	コロツケを製造する為、ミンチを成形する時、型取り機作動中、機械に挟まっていたミンチを取り除こうと電源を切ったが、機械が完全に止まる前に誤って機械の一部ローラーに触れてしまい、右手第2指が挟まれた。	62	1～9
	9～	当社工場内に於いて、いつものようにパイローラーを使用する前に清掃するため、		1～

1	10	タオルを敷いて右手で掃こうとし、足でペダルを踏む機械を踏み間違えてしまい、右手指が挟まり負傷した。	21	9
2	15~16	厨房にて大型のスライサーでキャベツの千切りを行っていた時、キャベツがスライサーのコンベア奥で止まったまま進まなくなってしまったため、スライサーを止めずに動いたままの状態です手を押し込んでしまい、中指の先を削ぐように切ってしまった。	59	50 ~ 99
2	12~13	厨房にて、スライサーで大根を切っている際、誤って刃の部分で、右手人差し指を切ってしまった。	57	1~ 9
2	9~10	店内作業場において食肉用スライサーを洗っている時に刃に触れてしまい、左手人差し指の先を切ってしまった。	37	50 ~ 99
2	15~16	店内キッチン売場において作業中、展示品の野菜みじん切り器の回転刃が保護ケースから外れているのに気付かず、右手で握ったところ中指に切傷を負ってしまい負傷したものである。	55	10 ~ 29
2	19~20	畜産作業場で、スライサーの清掃をしようとスライサーに手を近づけた際、チェーングローブを装着せずに作業したため、左手人差し指が刃に触れて第2関節を深く切った。	59	500 ~ 999
2	17~18	スライサーの刃を清掃中、（切創手袋をせず軍手とゴム手袋を着用）回転刃が左手に接触した。	20	100 ~ 299
2	7~8	当社本社調理場において、キャベツをスライサーに入れて作業中、キャベツの切れが悪かったので、蓋を開けてキャベツを押し込んだ時にスライサーの刃で左手中指を負傷した。	67	30 ~ 49
3	11~12	店内の惣菜作業場において、巻き寿司をカットする機械を使用して作業していたところ、急いでいたため、カット台に右手が置いてある状態で誤って左手でカッター刃をおろしてしまい、右手の甲を負傷した。	71	10 ~ 29
		精肉作業場でスライサーの清掃作業中、丸刃の中心から外側にカウンタークロスで		50

3	19~20	拭いていた時、刃に鎖手袋をしていない左手薬指が当たってしまった。	20	~ 99
3	4~5	精肉のスライサーを組み立てる作業中、まだ安全カバーが取り付けられる前にスライサーの刃を回してしまい、そこに指を突っ込んでしまい、小指と薬指を切除してしまった。	26	~ 29
3	14~15	真空機を用いてお粥を作成するため真空袋にお米を入れ封入する際に、誤って足元のスイッチを踏み、熱戦ヒーターの扉が閉まり、右手人差し指を挟み込み受傷した。	49	~ 99
3	8~9	作業場で生食スライサーでローストポークをスライス作業中に、肉の押さえバーを下ろし忘れたため、慌ててバーを下ろそうとした。スライサーを止めずにバーを下ろそうとしたため、左手がスライサーの中に入ってしまい、左手小指と薬指がスライサーの刃にふれ切創した。	43	~ 299
4	8~9	惣菜部門において、ローストビーフサラダの盛り付けの準備で、ローストビーフを機械でカット作業中、均一にカットされていないところがあり、手で原料を押したところ、左手小指側面が刃の回転部分に触れて裂傷が生じ、7針縫合した。	61	~ 99
4	8~9	工場において、電動の餅つき機で両手で餅を反しながら餅をついていたところ、誤って左手小指が杵につかれてしまった。	65	1~ 9
4	14~ 15	ミキサーを洗っている時に水の中に手を入れてしまい、刃があたって切れた。	56	1~ 9
4	10~ 11	惣菜作業場にて巻寿司を巻いている時、焦っていたため、誤って機械の金具に右手薬指を挟んだ。	28	~ 299
4	9~ 10	給食室にて刃が回転する裁断機を使って大根をカットしていた際、手が滑り、左手の指が刃にあたった。左手で大根を入れ、右手でハンドルの上げ下げの操作を行っていたが、四つ割りにした大根が濡れていたため手が滑り、奥まで手を入れすぎってしまった。	66	1~ 9
4	10~	肉を切る機械を掃除している時、回転している機械の刃に指が当たって切れた。	36	1~

	11	掃除の為にスイッチを切ったが余韻で動いていた歯に手を出してしまった。		9
4	12~ 13	当事業場内でコロッケ製造中に、成型機で型取りしたコロッケを左手で受ける作業中に、コロッケのタネの切れ端が成型機の棒状の部分に落ちた。その切れ端をとろうとした際に通常は機械を止めて取り除く作業をするが、右手がとっさに出てしまい、回転している成型機と棒状の部分との間に指が巻き込まれ、右手人差し指第一関節部分（2センチ程度）を切断した。	56	10 ~ 29
5	17~ 18	バックルームにおいて玉子台の後片付け中、台車に載せる時に手が滑ってしまい指の上に玉子台を載せてしまった。	52	100 ~ 299
5	15~ 16	食パンをスライスしていて、パンがスライサーの刃の奥側にずれたので電源を切り、パンを手前に戻そうとしたところ、刃に右手中指甲側が触れてしまい切傷した。	68	10 ~ 29
5	12~ 13	本社工場にて、タルト生地をのぼすパイローラーにて作業中、ローラー一部付近に付着した生地を除けようとパイローラー左側より、ローラー部に手を差し伸べていたところ、誤ってローラー稼働用の足踏みペダルを踏んでしまい、自身の左手（第1~3指）をローラーに挟み込み負傷した。		10 20 ~ 29
6	8~9	精肉作業場において、豚肉のスライサー作業中に、左手人差し指が機械に巻き込まれて切傷した。通常、指が入らないようにセッティングされているが、この日はその装置が外れていたため、指が巻き込まれてしまった。	42	50 ~ 99
6	9~ 10	給食室内で玉ねぎをみじんぎりにする為、裁断機を使った作業中に、裁断機の手前に付いていた玉ねぎの一片を取ろうとした時、手を滑らせてカッターに触れ、中指爪の1cm×1cm・深さ2mm程度と、薬指の爪がめくれ、挫創した。	50	10 ~ 29
7	18~19	工事において、リチャージウェル撤去段取り作業中、定規鉄板を設置したのち、1.5?の水タンクを吊るために吊具を装着したままクレーンを6m移動した。被災者は、玉掛のために水タンクの位置に移動した。クレーン移動完了後、子フックを下げた時に、吊具が子フックから外れて落下し、被災者の右腕及び右手にぶつかった。	56	10 ~ 29

7	9~10	事務所内給食室において、フードカッターで野菜をカットしている際に、不注意でカッターの刃に指が当たり、誤って右手人差し指と中指を切創してしまった。	23	~ 29	10
7	5~6	どらやきの生地を焼くため、機械へ生地をながしていたところ、ネジの締めが不十分だったため、部品（バー）がはずれてしまった。それを直そうとしたところ、まだ機械が静止する直前だったため、指が巻き込まれてしまいバーの圧力が指にかかり、左人差し指が裂傷、骨にヒビが入り、左中指先内出血となった。	26	~ 49	30
7	15~16	当該事業所において、漬物をペーストするためにミキサーを使用していた。セットする際に、スイッチがオンで入っていることに気付かず、刃の部分のみを先に台へセットした。刃をセットした瞬間ミキサーが回り始め、刃が右手指に当たり切創。	67	~ 29	10
7	13~14	当社工場内において、被災者がパン用ミキサーの清掃作業を行っていた。ミキサー内部の生地を取り除く際にスクリューを手動で回していたところ、誤ってヘラをミキサー内部に落としたので、右手で取ろうとした。この時、回転途中のスクリューに手を挟まれ、右手小指擦過傷、右第4、5中手骨基部骨折の怪我を負った。	42	~ 29	10
7	3~4	店内の厨房にて調理する為のフライヤー清掃および油交換の為、油のかすを受け皿に移していた時レジに客が来たので厨房を離れようとした際、油温度が十分に低下していなかった為、手足に油が直に接触してしまい、火傷を負った。フライヤーの下の部分についている突起物に体をぶつけて体制を崩したことが原因である。	20	~ 29	10
7	15~ 16	総菜作業場内で、カツ丼製造のため、業務用米飯成型機から米飯を計り出す作業をしていたところ、誤って米飯成型機の下部分に指を入れてしまい、右手中指をローラーに挟み負傷した。	22	~ 299	100
7	15~ 16	農産加工室にてカボチャ用カッターの片付け作業中に、アルコールスプレーを吹きかけながら刃の部分の拭いていたところ、右手中指が触れてしまい切創した。	49	~ 299	100
7	2~3	作業場にて玉ネギのカットをしていたところ、フードカッターで右手小指と薬指を	62	~	50

		切ってしまった。		99
7	7~8	パン生地をローラー機械に流しているとき、手に粉を付けるため、機械奥にある粉入れ容器に手を入れようとしたが、手前にある機械(ローラー) に手を入れ負傷した。当時、粉入れ容器の置き場所が変更されていた。	40	1~ 9
9	9~ 10	畜産作業場でのミンチの加工の時に、ミートチョッパーの本体の詰まりを通常専用の棒を使う所急いでいた為、手で押し込み指の先が引き込まれた。	26	100 ~ 299
10	12~ 13	店のパンスライサーの置いている作業場で、フランスパンのスライサーでスライスしていた際、右手でフランスパンを押さえて前方向にスライドさせた時、回転している刃に右手親指先端が接触し、切創した。	34	10 ~ 29
10	10~ 11	食材をミキサーへかける際、電源を入れたままミキサーの刃の部分回転器具へ連結したため、刃の部分ロックする際、手で触れた時にミキサーの刃が回転し両親指を負傷してしまった。電源を入れていたのを忘れていた事が主な原因である。	59	10 ~ 29
10	7~8	学校給食センター厨房内で、スライサーでしいたけをスライスしていて、終了後ホースで水をかけて汚れを落としていた。汚れが落ちにくかったので手で表面をこすっていたところ、スライサーの刃で左手の中指薬指の爪を削いでしまった。	48	10 ~ 29
10	10~ 11	給食室で、刃が回転する裁断機を使って玉ねぎをカットしていた際、手を奥まで入れすぎ、刃が指に当たった。	37	1~ 9
10	11~ 12	店舗厨房内、スイーツ用ソースをなめらかにするための機械「ブレンダー」を使用しているときに機械の刃部分に異変を感じたため確認しようとしたが、刃の回転が完全に停止しておらず、歯に触れてしまい、切傷を負った。	21	10 ~ 29
10	10~ 11	調理室で裁断機を使用して人参を切っている時、スイッチを止めて裁断機の中に入っていた切れ端を取り除こうと左手を入れた。刃が完全に止まっていなくて中指を切った。	58	1~ 9
10	15~ 16	うどん場にて、電源を切って製麺機のベルトを交換していた。交換中にローラとベルトの間に右手の指先を挟んだ。	31	10 ~ 29

11	9~ 10	出向中、長ネギをカットする業務用機械（ミドルネギ-OHC-50）で作業中、無意識の内に右手で安全装置を外し、左手中指を回転する刃の中に入れてしまい、左手中指を負傷してしまった。	49	1~ 9
11	10~ 11	セール準備の最中、農産作業室でかぼちゃのスライスカットをしている時、商品が滑って左親指の腹から爪をかぼちゃカッターで切った。すぐ病院に行ったが4針縫う怪我であった。専用の手袋を使用しておらず、商品が滑って誤って切ってしまったとの事で、マニュアルの作業を行っていないことから発生した。	30	100~ 299
11	17~ 18	厨房内にて閉店作業中、そば打ち機器のコンプレッサー（空圧）による上下動する圧縮板を停止させ作業をしていたが、不注意でONのスイッチに触れ機器が作動してしまい、右手中指が機器の間に挟まれ指先を6針縫う負傷をした。負傷後は救急車で病院へ搬送された。	46	10~ 29
11	15~ 16	お店で、ストック用の食パンを切るため、1本切り終えてスイッチを切り、残っているパンの耳を取ろうとしたところ、まだ完全に止まっていない刃に指が当たり切ってしまった。人差し指は3針、中指は1針縫った。	51	10~ 29
11	13~ 14	工場でミキサーのビーターを装着して、クッキーを練っている際手を入れて巻き込まれた。そして中指と薬指の間を深さ1cm位、長さ5cm位切れてしまった。	48	10~ 29
11	19~ 20	スライサーを清掃中に、誤って刃を動かしたまま洗ってしまい、手を切った。	47	30~ 49
11	11~ 12	下処理室のフードスライサーで、二枚刃を使い山芋を3×3mmに切っている時にフードスライサーを停止しようと、停止ボタンを押し、まだ完全に二枚刃の回転が停止していない状態で安全カバーを開け山芋を押し出そうと手を入れ回っていた二枚刃に、右手の第2、3指が当たり負傷してしまった。	38	50~ 99
11	14~ 15	店内奥にて食パンをスライサーで切り袋に詰める作業中、普段ならば切り終えたパンが回転中の刃より遠い下の位置で受け取るところを、急いでいた為、慌てて刃の近い位置で取り出し、左手人差し指、中指が接触してしまい先端一部を切創してし	20	50~ 99

		まった。		
11	8~9	生産加工部の部内で穴子のきざみを作成中きざみに使う機械に穴子を投入し、上から押し込んだ際押し込み過ぎて、右手人指し指の爪の裏あたりを骨折した。	45	100 ~ 299
12	11~12	休憩中に営業用の蒸し器の扉に手袋が挟まっていることに気づき、手袋を取りながら蒸し器の扉を開けてしまい左腕に受傷した。	19	50 ~ 99
12	11~12	手打ち風製麺機にて、そば麺帯を自動包丁にて切断中、誤って右親指を切断した。	69	1~ 9
12	21~22	当社において、バンドソーを使い冷凍本鮪赤身ブロックをサク取りする際に、バンドソーの刃と平行になるべきブロックが傾き、ブロックを押さえていた左示指がバンドソーの刃に当たり受傷した。当初、ステンレスメッシュグローブを使用していたが、商品を箱から取り出す際に外し、うっかりそのまま作業を行ってしまった。今後は、グローブを必ず使用することと、治具等を使用して手指が危険範囲に入らないようにする方法を検討する。	44	30 ~ 49
12	9~10	食パンのスライス作業後に、スライサーの電源を外し、スライサーの刃の周りを専用の箸で清掃中、誤って右手中指を刃に接触させ、負傷した。	20	30 ~ 49
12	12~13	店舗内精肉作業場で精肉スライサーを使用中に布巾で刃の汚れを拭こうとした時、スライサーの回転刃に布巾が巻き込まれて、布巾を持っていた右手が刃に触れてしまい、親指の先を深く切ってしまった。	26	10 ~ 29
12	18~19	精肉作業室でスライサー本体（肉箱）の肉片除去と拭き上げで肉箱と刃の間に手を入れた時、肉箱と刃の間隔を開けずに作業したため、引き戻した中指の爪がスライサーの刃に触れ、中指の爪と指の先端の一部を切創した（安全手袋未着用、ゴム手袋着用）。	18	100 ~ 299
12	17~18	工場内の餅作業場で鏡もちを製造する機械を清掃中、左手人差し指で機械に付着した餅を取り除いていたところ、誤って機械のスイッチに体が当たり、機械が始動し	33	10 ~

		て指を切断した。		29
12	11~12	会社内にて食肉をスライサーで加工中、動いた肉を押さえようとした際、誤ってスライサーの刃に右手が触れて右手親指を負傷した。	73	1~9
12	15~16	作業場でローストビーフスライス機械を洗浄清掃しようとして分解していた際、金属の手袋をしなかったために刃の部分が指に触れ、右手人差し指を切った。	45	500~999
12	9~10	厨房内の餅加工場で餅つき作業中、つきあがった餅を臼から取り出す工程で、臼底部の羽根と臼側面についている羽根の隙間に左手を深く差し込みすぎたため、餅と共に巻き込まれ、左手中指の先をその隙間の部分に食い込ませて損傷した。	48	10~29
12	11~12	店舗内インスタベーカリー部の作業場にて、食パンをスライサー機械を使ってスライスをする作業をしていた際、電源を落とし、スライサーの刃が十分に止まっていない状態で食パンの端の耳部分を取る作業をし、刃が右手人差し指に触れて切ってしまった。	39	100~299
12	11~12	ベーコンをスライスしていたとき、ベーコンが滑り、自分の中指を切ってしまった。	19	30~49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html